

大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) 取組概要

立命館大学

【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

国際PBLによるイノベータ育成プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

AIMS参加大学との間で学士課程での連携を進展させ、思考ミックスの能力を備えた学生を養成する。

【構想の概要】

立命館大学およびプログラムに参加する各大学がオンデマンド講義(Video on Demand)、サテライト講義(TV会議)の形式で、課題領域に沿った講義を提供する取組みである。

■ 交流プログラムの質の保証

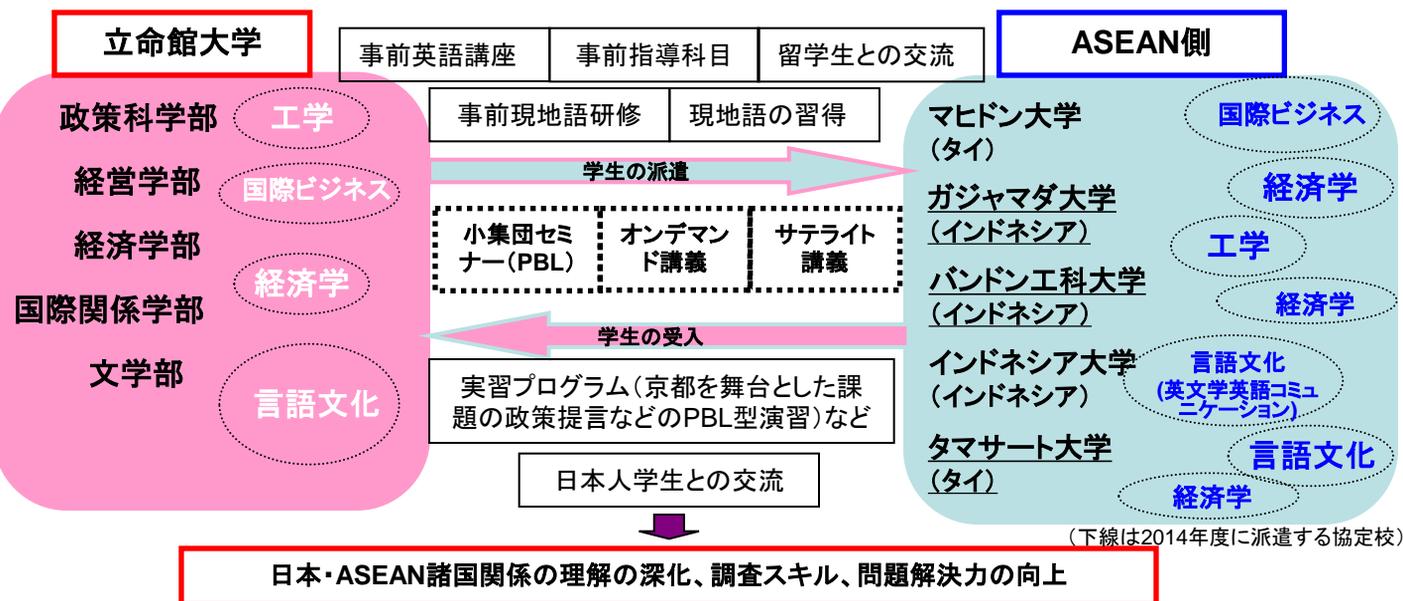
・ UMAPのUCTSを通じた成績管理と単位互換

既存の交換留学に関する単位互換の蓄積をもとにUMAPのUCTSを通じて成績管理や単位互換を拡大するための調整を続けている。

・ 質保証のためのガイドライン策定

「学部教学改革ガイドライン」を策定し、英語開講科目の受講教室環境、年間登録上限単位の引き下げ、科目の精選、シラバス事前点検による透明性の確保を担保している。

■ 交流プログラムの内容



■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

注) H25は実績、H26以降は申請時の計画

	H25						H26						H27						H28						H29					
	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B
学生の派遣	0	0	0	0	0	0	-	13	12	-	-	-	-	16	14	-	-	-	-	19	16	-	-	-	-	19	16	-	-	-
学生の受入	0						-						25						30						35					

M:マレーシア I:インドネシア T:タイ V:ベトナム P:フィリピン B:ブルネイ

H26年度については受入0名の予定であったが、タマサート大学より早期実施の強い要望があり、先行モデルとしてタマサート大学生5名の受入を開始

■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

① 受入

- 既存PBL科目の利用、協定校との短期集中型PBL演習によるPBL科目の開発
- 英語、タイ語、インドネシア語ウェブページならびに英語動画作成による本プログラムの理解を促進
- 専門スタッフによる英語での履修、生活相談
- 日本人学生との交流企画

② 派遣

- キックオフカンファレンス(タマサート大学、ガジャマダ大学)やPBL検討会(ガジャマダ大学、バンドン工科大学)での協定校の既存PBL科目の精選、開講
- ウェブページならびに動画作成による本プログラムの理解を促進
- 日本人の派遣を奨励するための奨学金
- 留学中のCAMPUS WEBIによる大学関連の情報提供設備の確定
- 派遣先大学での相談窓口の設置の調整



PBL演習(基本講義、現地調査、最終発表など)の例